

## 輸送動向について（12月分）

平成26年1月

### 1. 輸送概況

今月は、中旬に発生した低気圧の通過に伴う強風による運転規制の影響により、高速貨24本が運休となった。

荷動きについては、景気回復や円安を背景に国内生産が堅調に推移し、月全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、自動車部品が現地調達化の進展により前年を下回ったものの、円安により国内供給が増加した紙・パルプや化学工業品、売行き好調により出荷が旺盛となった食料工業品等が前年を大きく上回り、コンテナ貨物全体では前年比106.4%となった。

車扱貨物は、石油が上旬の気温上昇及び価格上昇により減送となった他、一部顧客が、7月の山口地区の豪雨の影響により山口線の一部区間が線路不通となっていることから減送となった。結果、車扱貨物全体では前年比88.7%となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,924	1,809	106.4%	15,975	15,507	103.0%
車 扱	977	1,101	88.7%	6,701	6,712	99.8%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	187	188	-1	99.5%
	化学工業品	178	159	19	111.8%
	化学薬品	131	119	12	110.6%
	食料工業品	325	306	19	106.1%
	紙・パルプ	281	254	27	110.7%
	他工業品	135	139	-4	97.6%
	積合せ貨物	214	197	17	108.3%
	自動車部品	69	71	-2	97.7%
	家電・情報機器	47	45	2	104.2%
	エコ関連物資	39	40	-1	99.4%
	その他	317	291	26	108.7%
コンテナ計	1,924	1,809	115	106.4%	
車 扱	石油	728	829	-101	87.8%
	セメント・石灰石	97	94	3	102.8%
	車 両	95	103	-8	92.0%
	その他	57	74	-17	76.8%
	車 扱 計	977	1,101	-124	88.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)